

## 2020 年度 学会発表

### SARAH エクササイズプログラムの邦訳と実践での課題

学会名：第 64 回 日本リウマチ学会総会・学術集会

開催日：2020 年 8 月 1 日～9 月 15 日

作業療法学科

中村 めぐみ 先生

関節リウマチのリハビリテーション治療として、生活を支える「手」に着目したハンドエクササイズ・プログラム「Strengthening and Stretching for Rheumatoid Arthritis of the Hand (SARAH)」を、原著者らの許可を得て邦訳した。SARAH は、関節可動域と筋力を改善・強化する 11 種目のエクササイズで構成されている。12 週間、作業療法士・理学療法士とともに実践とゴール設定を行い、終了後も自宅で毎日エクササイズを続けていただくというプログラムである(Lamb,2015)。本報告では、この邦訳の過程と、臨床での実施に関する療法士へのアンケート調査の結果を報告した。アンケートの結果から、備品の購入手段と病院等施設での診療報酬に関する問題点が明らかとなった。今後は、より実践しやすい提供方法を見出すために、調査と検証を続けたいと思っている。